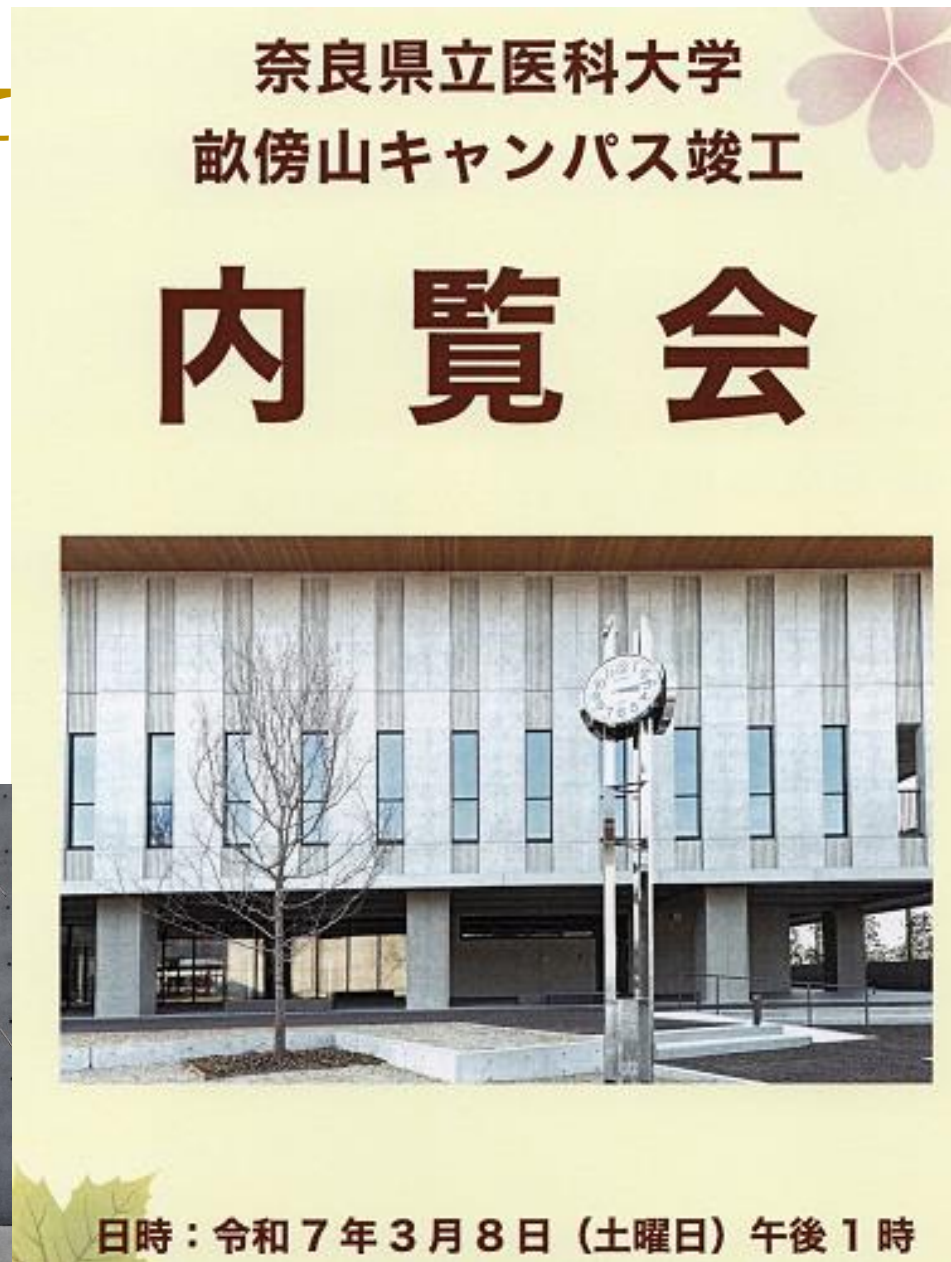


医学科同窓会は  
創立80周年を記念して  
時計台を贈呈

モニュメント「愛」を  
新キャンパスに移転

記念植樹  
桜  
プラタナス









## 桜とプラタナスの植樹

母校創立 80 周年記念と新キャンパスの完成の二つの祝賀を記念し、医学科同窓会は新キャンパスに植樹をさせてもらえるように大学へお願いいたしました。大学はこの申し出を快く引く受けてくださいました。

植樹するのは桜とプラタナスであります。これは卒業生からの提案があり決定いたしました。

桜は日本の教育機関とは最も馴染みが深く、植樹には定番の樹であります。

プラタナスは、ギリシャの医聖ヒポクラテスが、その大樹の陰で弟子たちに医学を教えた逸話で知られています。医療哲学ヒポクラテスの誓いは、今なお全世界の医師に引き継がれております。プラタナスは高さ 7～8m に成長し、枝葉は巨大な円錐形を呈し、その樹の下で医学を説いたとしても、なるほどと頷ける静寂な空間を創っています。

ギリシャ東エーゲ海のコス島には、このヒポクラテスの樹の原木の子孫が代を重ね 2400 年もの間、大切に保存されて存在します。この由緒正しき樹が苗木として、または種としてコス島から日本に複数のルートで譲られ、各地の医療関係施設に根付いています。

現在、日本各地の赤十字病院に植えられているプラタナスは、1977 年に、日本赤十字社が創立百周年を祝ってギリシャの赤十字社から贈られたコス島の原木から得た苗木を殖やし、全国の赤十字社に頒布されたものに由来しています。

今回、奈良医大同窓会が植樹を計画しておりますのは、大阪高槻の日本赤十字病院の敷地に植えられているプラタナスを挿し木で得られる苗木であります。挿し木で苗木まで育てるには数年かかりますので、今回の植樹式では、桜のみを植え、プラタナスに関しましては準備が整ったら植樹するという計画の発表のみをさせていただきます。

今回の分株にご高配をいただきました高槻赤十字病院に深く感謝申し上げます。

医学部医学科同窓会 会長 高橋 優三

# 植樹

